

審査結果報告書

平成 31 年 / 月 30 日

主 査 氏 名 阿内 康雄



副 査 氏 名 青山 直善



副 査 氏 名 山岡 邦彦



副 査 氏 名 佐藤 俊哉



1. 申請者氏名: DM15022 橋本 拓哉

2. 論文テーマ: 冠動脈疾患患者におけるアキレス腱肥厚と重症度、プラーク脆弱性との関係及び脂肪酸が急性心筋梗塞急性期の致死性不整脈に与える影響について

3. 論文審査結果 :

高脂血症は冠動脈疾患の発症危険因子であることは周知のことである。しかし、高脂血症の程度は冠動脈疾患の重症度や発症時の合併症を示すものではない。医療機関や医師の習熟度に関係なく、高脂血症患者の冠動脈疾患・心疾患の発症リスク、重症度、心合併症を予想できる簡便な臨床指標を得ることは発症予防や治療方針に貢献することとなる。申請者らは以前よりこの問題に取り組んでいるが、今回指標と成りうる2点について報告した。最初は「高脂血症患者のアキレス腱肥厚が冠動脈多肢病変、左主幹部病変及び硬化病変のプラーク脆弱性に関係する」というものである。本結果は正しく予防、治療方針を考えるうえで重要である。また、2点目の「EPA/AA 比が急性心筋梗塞時の致死性不整脈発生と関連する」との報告も興味深いものである。要因としてイオンチャンネルのコンダクタンス調整作用や活性酸素に関する討論もされており、単なる現象結果のみでなくその考察もされている。しかし、当論文の結論を臨床現場へ応用するためには課題もいくつか残されている。申請者も十分に理解しており、他施設大規模調査やより詳細な検索が必要とされるが、将来への研究展望についても述べられていた。申請者による発表の後の副査および主査の結果や考察、今後の課題に対して広範な質問が出されたが、おおむね適切に回答し申請者の学識の高さを示した。副査および主査は学位論文の内容に加えて、質疑応答の適確さから、医学博士の学位に相応しいと判断した